

平成19年4月末労働災害発生状況

－建設業の死傷者数62人、前年同月と比べ23人減－

岩手労働局は、今年4月までの労働災害発生状況を取りまとめ公表しました。

4月末現在、建設業における休業4日以上の死傷者数は62人で、前年同月に比べ△23人、27.1%減と大幅に減少しています。

休業4日以上の死傷者数を業種別に見ると、土木工事が20人で前年4月末に比べ△8人、28.6%の減。建築工事の鉄骨・鉄筋家屋が7人で、前年4月末に比べ△4人、36.4%減。木造家屋11人で同△11人、50.0%の減。その他の建築工事が16人で、同△1人、5.1%の減。その他の建設業が8人で同1人、14.3%の増となっております。

また、監督署別の内訳を見ると、盛岡が21人、一関14人、花巻と二戸がそれぞれ10人、釜石

と大船渡が同じで3人、宮古が1人となっております。

今年に入ってから建設業での死亡労働災害は、木造家屋建築工事で1件発生しています。

死亡労働災害のゼロ継続日数は、建設業全体で38日間。監督署別に見ると、大船渡が、1,505日間、釜石が816日間、一関が784日間、花巻が633日間、宮古が448日間、盛岡が145日間、二戸が38日間。鉱業における死亡災害ゼロ日数は278日間となっております。

県内全業種における労働災害発生状況を見ると、休業4日以上の死傷者数は325人で、前年4月に比べ△131人、28.7%の大幅減となっております。

☆労働災害発生状況（休業4日以上の死傷者数）

(岩手労働局)

業 種		平成19年4月末	平成18年4月末	増減数	増減率%	
建設業	土木工事	20	28	△ 8	△ 28.6	
	建築工事	鉄骨・鉄筋家屋	7	11	△ 4	△ 36.4
		木造家屋	① 11	① 22	△ 11	△ 50.0
		その他の建築工事	16	17	△ 1	△ 5.1
	その他の建設業	8	7	1	14.3	
建設業計	① 62	① 85	△ 23	△ 27.1		
全業種計	⑤ 325	⑥ 456	△ 131	△ 28.7		

(注)・○内は死者数(内数)で平成19年4月末現在の速報値である。

・( )は交通労働災害者数(内数)である。